

被害の様相（全体シナリオ）【複合型東海地震：冬季午後6時発生】

時間経過		地震発生（午後6時）	1時間後 （午後7時）	3時間後 （午後9時）	6時間後 （午前0時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■瑞浪市、土岐市、上矢作町、可児市、各務原市、関市、美濃市の低地で震度6弱</li> <li>■低地で概ね震度5強、それ以外は概ね震度5弱 ○地震発生時は日が暮れ真っ暗な状態</li> <li>■川島町～岐阜市～大垣市、安八郡、東濃の低地で液状化が発生 ○冬季気温5℃以下</li> </ul>		○震度5程度の余震発生、今後も続く	
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設に被害、断水発生 ○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> <li>■下水道施設に被害発生 ○処理場の点検・応急措置開始</li> <li>■都市ガス施設に被害発生 ○ガス緊急停止 ○ガス製造施設、貯蔵施設の点検・応急措置開始</li> <li>■濃尾平野を中心に停電 ○情報収集・点検</li> <li>■電話柱の折損、電話線切断が震度6弱、液状化発生により発生 ○施設の点検開始 ○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話もつながらない ○通話の規制をかける</li> </ul>	○管路被害調査は夜間のためできず→翌朝から開始決定	○管路の点検は夜間のためできず→翌朝開始	○管路の点検は夜間のためできず→翌朝開始
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■岐阜、西濃、東濃の低地の道路は、橋梁、盛土で被害発生、 ○高速道路閉鎖→点検開始 ○帰宅の車両等が多く、都市部市街地で渋滞が顕著 ○一般車両、緊急車両が加わり幹線の渋滞がすすむ ○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず ○市街地で警察による交通整理開始 ○液状化地域で信号機破損 ○岐阜～大垣方面、海津方面はのろのろ運転 ○道路管理者による点検開始</li> </ul>		○岐阜市、大垣市、各務原市などの役所、病院等に電源車出動	○帰宅車両の渋滞が解消しはじめる
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東海道線、近鉄養老線、中央本線などで路線被害 ○列車緊急停止 ○線路、架線の点検開始 ○駅間に停車中の列車から最寄りの駅に徒歩で避難 ○岐阜駅、大垣駅、多治見駅等に帰宅途中の乗客あふれる ○バスは道路渋滞に巻き込まれる</li> </ul>	○JR、名鉄、近鉄の名古屋・三重方面は不通	○滞留旅客、帰宅困難者の一部が駅で一夜を明かす ○高山本線、樽見鉄道、長良川鉄道等が運転再開	○被害箇所の応急復旧開始
建築物・火災		<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約2,800棟、半壊約7,700棟</li> <li>■岐阜市、大垣市、多治見市など県下で約20件ほど出火するが、初期消火で炎上出火は防止される</li> </ul>			
県庁の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ ○市町村へ情報提供</li> <li>○被害情報収集 ○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○地震情報収集 ○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> <li>○マスコミへの被害状況公表準備（被害状況・対応状況）</li> </ul>
市役所、町村役場の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信 ○最初動期の指揮活動</li> <li>○災害対策本部設置（自動） ○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○協定締結先に協力依頼 ○地域住民へ広報 ○マスコミ対応</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>
被災者、県民の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認 ○徒歩で帰宅をし始める</li> <li>○出火した家屋で初期消火活動</li> <li>■帰宅困難者約19万人 ○岐阜駅に帰宅者等があふれる</li> <li>■滞留旅客3.3万人 ○一部帰宅あきらめ勤め先にもどる</li> <li>○美濃地方の都市部以外は通常の社会状況 ○名古屋方面に大被害発生との情報が流れる ○被災地では避難者がコンビニ、スーパーで食料・物資購入→すぐに完売、品不足となる</li> </ul>			
救出・応急医療救護		<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約110人、重症者約600人、中等症者約3,600人 ○岐阜市、大垣市等県内消防機関に応援要請</li> <li>■要救出者約240人 ○救護所設置準備</li> <li>○消防に救出依頼がよせられる ○都市部の負傷者が病院に集まる</li> <li>○消防出動 ○市街地で救急車が渋滞に巻き込まれる</li> <li>○建物倒壊による被害者がほとんど、多治見市などでビル等の落下物で負傷するも少数</li> </ul>	○停電地域は救出活動に支障あり ○岐阜市、多治見市等の病院は軽症者で混み合う	○愛知県、三重県から重症者の受け入れ要請	○傷病者の緊急医療終了
避難所		<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約14,000人</li> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> <li>○残っていた教職員が避難者を案内</li> </ul>			○避難所では暖房なしで1夜を明かす

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前0時)	12時間後 (午前6時)	24時間後 (午後6時)	3日目	5日目
地震等の状況	自然現象		○震度5程度の余震発生、今後も続く ○夜が明ける ○気温0℃以下			
ライフライン	水道		○管路の点検開始		○復旧工事開始→3週間から1ヶ月で復旧	
	下水道		○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査	○県下の応援隊到着	○岐阜市、大垣市、多治見市以外は復旧 ○多治見市(1週間)、大垣市(2週間)、岐阜市(3週間)	
	ガス		○管路の点検開始		○復旧工事開始→3週間から1ヶ月で復旧	
	電気		○電柱、電線等の点検開始		○ほとんどの地域で復旧完了	
	電話		○電話柱、電話線等の点検開始		○通話規制解除	
交通	道路		○被害箇所の応急復旧工事本格化 ○道路上のがれきの撤去開始 ○依然、名古屋方面への国道渋滞→数日間続く ○通勤渋滞と災害の渋滞とが重なる	○岐阜市、東濃以外は通常の交通状態に戻る。	○道路の応急措置完了	
	鉄道、バス		○バス通常運行開始(被害箇所迂回) ○鉄道運行開始 ○JR、名鉄の名古屋方面は運休	○鉄道運休区間の代行バス運行開始	○復旧した区間から列車の運行開始	
建築物・火災			○応急危険度判定開始		○がれきの撤去始まる	
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○災害救助法関連事務	○食料物資供給事務 ○防災ヘリ偵察開始 ○ヘリテレによる映像受信			
市役所、町村役場の動向		○応援部隊投入検討(消防・警察・自衛隊) ○人員要請に対する調整(自衛隊への状況報告・県職員の派遣) ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表	○広域火葬計画に基づく火葬調整 ○広域検診・医療救護班の編成			
被災者、県民の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援(食料・生活支援物資)、死体搬送、安置活動 ○人員要請(県・警察・自衛隊・医療関係者等) ○情報の整理(被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告)	○ほとんどの市町村で通常の出勤開始 ○事業所内の片づけ、整理	○県内市町村へボランティア参加		
救出・応急医療救護					○避難所の医療救護活動開始	
避難所		○避難者は一夜を明かす	○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給 ○仮設トイレ、暖房施設等設置			
			○避難者、要援護者の把握 ○避難所の運営開始			

被害の様相（全体シナリオ）【複合型東海地震：冬季午前3時発生】

時間経過		地震発生（午前3時）	1時間後 （午前4時）	3時間後 （午前6時）	6時間後 （午前9時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■瑞浪市、土岐市、上矢作町、可児市、各務原市、関市、美濃市の低地で震度6弱</li> <li>■低地で概ね震度5強、それ以外は概ね震度5弱</li> <li>■川島町～岐阜市～大垣市、安八郡、東濃の低地で液状化が発生 ○気温0℃以下</li> </ul>	○震度5程度の余震発生、今後も続く	○周囲が明るくなり始める ○夜が明ける	
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設に被害、断水発生 ○水道事業者が非常参集開始</li> <li>■下水道施設に被害発生 ○下水道職員参集開始</li> <li>■都市ガス施設に ○ガス緊急停止 ○社員非常参集開始 ○宿直者でガス製造施設、貯蔵施設の点検・応急措置開始</li> <li>■濃尾平野を中心に約93万人が停電 ○情報収集・点検 ○宿直者で緊急対応 ○社員非常参集開始</li> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱、液状化により発生 ○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話もつながらない ○通話の規制開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管路被害調査は夜間のためできず→朝から開始決定 ○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> <li>○処理場の点検・応急措置開始</li> <li>○管路の点検は夜間のためできず→朝から開始決定</li> <li>○停電解消ははじめる ○停電は岐阜市、大垣市、各務原市など一部</li> <li>○施設の点検開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管路の点検開始</li> <li>○管路の点検開始</li> <li>○電柱、電線等の点検開始</li> <li>○電話柱、電話線等の点検開始</li> </ul>	
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■岐阜、西濃、東濃の低地の道路は、橋梁・盛土で被害発生 ○高速道路閉鎖→点検開始 ○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず ○液状化地域で信号機破損</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○岐阜、大垣、多治見等市街地で渋滞がはじまる</li> <li>○市街地で警察による交通整理開始</li> <li>○道路管理者による点検開始</li> <li>○名古屋方面への国道が著しく渋滞し始める</li> <li>○応急工事開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名古屋、三重方面へ続く道路が著しい渋滞となる</li> <li>○道路点検、応急復旧工事本格化</li> </ul>	
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東海道線、近鉄養老線、中央本線などで路線被害 ○社員の非常参集開始 ○運航中の列車緊急停止 ○宿直者で線路、架線の点検開始</li> </ul>	○被害箇所の応急復旧開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バス通常運行開始（被害箇所迂回）</li> <li>○JR、名鉄、近鉄の名古屋、三重方面始発から運休</li> <li>○駅に通勤客が集まる</li> </ul>	
建築物・火災		<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約2,800棟、半壊約7,700棟</li> <li>■出火はほとんどない</li> </ul>			
県庁の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○宿直による状況把握</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員各自の非常参集開始</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急初動特別班参集</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ</li> <li>○被害情報収集</li> <li>○地震情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防防災課・危機管理室等職員・災害対策本部要員参集</li> <li>○緊急初動特別班からの引継ぎ</li> <li>○市町村へ情報提供</li> <li>○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災ヘリ偵察開始 ○ヘリテレによる映像受信</li> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> </ul>
市役所、町村役場の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信</li> <li>○災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員の非常参集開始</li> <li>○宿直による状況把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非常参集者参集</li> <li>○最初動期の指揮活動</li> <li>○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○協定締結先に協力依頼</li> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○被災地では避難者がコンビニ、スーパーで食料・物資購入→すぐに完売、品不足となる。</li> </ul>	
被災者、県民の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認</li> <li>○濃尾平野以外は通常の社会状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主防災組織、消防団で倒壊建物からの救出開始</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> </ul>		
救出・応急医療救護		<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約160人、重症者約700人、中等症者約4,500人 ○岐阜市から県内消防機関へ応援要請</li> <li>■要救出者約380人 ○建物倒壊により就寝者の被害がほとんど ○救護所設置準備 ○消防に救出依頼がよせられる ○消防出動</li> </ul>	○停電地域は救出活動に支障あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな生き埋め者が発見される</li> <li>○救出活動終了</li> </ul>	
避難所		<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約14,000人</li> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる ○避難所施設内に入れない箇所もあり</li> </ul>	○避難所では暖房なしで1夜を明かす		

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前9時)	12時間後 (午後3時)	24時間後 (午後6時)	3日目	5日目	
地震等の 状況	自然現象	○震度5程度の余震発生、今後も続く					
ライフライン	水道					○復旧工事開始→3週間から1ヶ月で復旧	
	下水道			○県下の応援隊到着	○復旧工事開始→岐阜市、大垣市、多治見市以外は復旧	○多治見市(1週間)、大垣市(2週間)、岐阜市(3週間)	
	ガス						
	電気						
	電話					○通話規制解除	○ほとんど復旧完了
交通	道路	○道路上のがれきの撤去開始	○道路の応急措置完了				
	鉄道、バス	○依然、名古屋方面への国道渋滞→数日間続く ○岐阜市、東濃以外は通常の交通状態に戻る。		○鉄道運休区間の代行バス運行開始、名古屋方面は不通	○復旧した区間から列車の運行開始		
建築物・火災		○応急危険度判定開始				○がれきの撤去始まる	
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討(消防・警察・自衛隊) ○人員要請に対する調整(自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成) ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表	○食料物資供給事務 ○災害救助法関連事務 ○広域火葬計画に基づく火葬調整				
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援(食料・生活支援物資)、死体搬送、安置活動 ○人員要請(県・警察・自衛隊・医療関係者等) ○情報の整理(被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認、応援要請箇所報告)					
被災者、県民の動向		○避難所で避難が続く ○自主防災組織が救出活動 ○親戚・知人宅へ一部避難			○ライフライン復旧に伴い帰宅		
救出・応急医療救護		○負傷者の治療ほぼ終了する			○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始		
避難所		○弁当が届けられる→以降定期的に供給	○避難所に物資供給	○仮設トイレ、暖房施設等設置	○避難所の運営開始		

被害の様相（全体シナリオ）【阿寺断層系による地震：冬季午後6時発生】

時間経過		地震発生（午後6時）	1時間後 （午後7時）	3時間後 （午後9時）	6時間後 （午前0時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■下呂市、加子母村・清見村・宮村・久々野町で概ね震度6強、一部震度7</li> <li>■飛騨南部・郡上市～東濃北部は震度6弱、岐阜・中濃南部・東濃南部は5弱～5強</li> <li>○地震発生時は日が暮れ真っ暗な状態</li> <li>○飛騨川沿い低地、加子母村の低地の狭い範囲で液状化発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○震度5程度の余震発生、今後も続く</li> <li>○余震により落石、雪崩が続けて発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気温0℃以下</li> </ul>	
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設に被害、断水発生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> </ul> </li> <li>■下水道施設に被害発生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○処理場の点検・応急措置開始</li> </ul> </li> <li>■倒壊家屋等に伴い広範囲に家庭プロパンガスの被害発生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ガス緊急停止</li> <li>○ガス製造施設、貯蔵施設の点検・応急措置開始</li> </ul> </li> <li>■飛騨南部・中濃北部・東濃北部を中心に停電                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報収集・点検</li> </ul> </li> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱、液状化発生により発生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の点検開始</li> <li>○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話も輻輳発生</li> <li>○飛騨・東濃で通話の規制をかける</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管路の点検は夜間のためできず→翌朝から開始</li> <li>○管路の点検は夜間のためできず→翌朝から開始</li> <li>○管路の点検は夜間のためできず→翌朝から開始</li> <li>○中濃・東濃などでは停電解消しはじめる</li> <li>○停電は飛騨南部など一部のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電源車が出動するものの道路被害により立ち往生</li> </ul>	
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨・東濃北部の山間部の道路は、落石、崩壊により各所で寸断される→被害箇所で交通ストップ→市町村孤立</li> <li>■西濃の山間部では、雪崩により各所で道路が埋没、崩壊、かなりの区間が雪で埋まる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○東海北陸自動車道閉鎖→点検開始</li> <li>○高山市街地で帰宅車両による渋滞発生→未明まで続く</li> <li>○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず</li> <li>○高山市街地で警察による交通整理開始</li> <li>○道路への雪崩、落石、崩壊で車両が巻き込まれる</li> <li>○国道・県道等道路管理者による点検・除雪開始→国道41・158号優先</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国道41号は高山市～下呂市～美濃加茂市区間不通、国道257・256・472・158号も不通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東海北陸自動車道は緊急輸送路として開通</li> <li>→アクセス道路の被害で飛騨清見ICから先は渋滞</li> </ul>	
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高山本線、長良川鉄道で落石、崩壊等により路線被害</li> <li>■上記路線で列車脱線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○県下全ての列車緊急停止→○高山本線は駅間に列車が立ち往生</li> <li>○緊急点検開始→飛騨は翌日以降</li> <li>○停電した駅は真っ暗</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下呂駅、高山駅に観光客が残される</li> <li>○駅間に停車中の列車から最寄りの駅に徒歩で避難</li> <li>○高山本線、長良川鉄道以外は運転再開</li> <li>○美濃太田駅に下呂方面、白鳥方面への帰宅困難者がでる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帰宅困難者、滞留旅客の一部が美濃太田、下呂、高山駅で一夜を過ごす</li> </ul>	
建築物・火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約29,000棟、半壊約44,000棟（屋根への積雪で倒壊さらに増加）</li> <li>■約50件炎上出火、約130棟焼失                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○断水地域では水の確保困難</li> <li>○消防車出動</li> <li>○雪に埋もれた家屋からの出火あり</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山間部の集落へは道路被害のため出動困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中濃、東濃の消防応援部隊到着</li> </ul>		
県庁の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ</li> <li>○被害情報収集</li> <li>○地震情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村へ情報提供</li> <li>○各部署による対策の実施状況把握</li> <li>○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マスコミへの被害状況公表準備（被害状況・対応状況）</li> </ul>	
市役所、町村役場の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信</li> <li>○災害対策本部設置（自動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最初動期の指揮活動</li> <li>○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○協定締結先に協力依頼</li> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>		
被災者、県民の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認</li> <li>○出火した家屋で初期消火活動</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> <li>○西濃、岐阜、中濃南部、東濃南部は通常の社会状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所に避難</li> <li>○自主防災組織による救出活動→暗闇のため困難</li> <li>○鉄道の止まった駅に帰宅者困難者があふれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンビニ、スーパーに住民が殺到、食料・物資を購入→すぐに完売、品不足となる</li> </ul>		
救出・応急医療救護	<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約1,100人、重症者約1,300人、中等症者約7,600人</li> <li>■要救出者約2,500人                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○消防に救出依頼がよせられる</li> <li>○消防出動</li> </ul> </li> <li>○救護所設置準備</li> <li>○夜間のため救出活動困難</li> <li>○負傷者が病院に殺到</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○孤立町村から病院への搬送困難</li> <li>○中濃、東濃、岐阜、西濃の消防本部から消防車、救急車の出動→国道41・257・472号を使用するものの到着困難</li> <li>○中濃、東濃、岐阜、西濃から医療救護班の出動→国道41・257・472号を使用するものの到着困難</li> <li>○孤立集落などでは救助困難</li> <li>○高山赤十字、木沢記念病院は重症者で満杯→県へ搬送要請→国道41号は通行困難</li> </ul>			
避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約90,000人                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> <li>○残っていた教職員が避難者を案内</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所ではライフライン途絶のため、電灯、暖房なしで1夜を明かす</li> <li>○断水地域は水洗トイレが使用不可能</li> <li>○全避難者への食料、物資供給困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員による避難者の把握</li> <li>○帰宅困難者、滞留旅客が駅周辺の避難所に避難</li> </ul>		

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前0時)	12時間後 (午前6時)	24時間後 (午後6時)	3日目	5日目
地震等の 状況	自然現象		○震度5程度の余震発生、今後も続く ○夜が明ける ○気温0℃以下			
ライフライン	水道		○管路の点検開始 ○給水活動開始	○県下の水道事業者からの応援部隊到着	○給水活動本格化	○復旧工事開始→3週間から1ヶ月で復旧
	下水道		○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査		○県下の応援隊到着	○復旧工事開始→数日で復旧
	ガス		○プロパン販売業者の点検開始			○復旧工事開始→約1ヶ月で復旧
	電気		○電柱、電線等の点検開始			○数日で復旧完了 ○建物倒壊地域で通電火災発生
	電話		○電話柱、電話線等の点検開始			○通話規制解除
交通	道路		○国道41号等の緊急輸送路の応急復旧工事開始 ○道路の点検開始→依然山間部の町村、集落は孤立 ○余震により新たな箇所被害発生	○国道41・158号は開通	○落石除去、除雪等により軽微な被害箇所は通行可能 ○物資輸送のトラック等で国道41・158号はのろのろ運転 ○大規模崩壊箇所は復旧長期化	
	鉄道、バス		○飛騨南部、東濃北部のバスは始発から運休 ○被害のなかった路線は通常運行 ○高山本線、長良川鉄道以外は通常運行		○路線バス運行開始 ○運休路線の代行バス運行開始	
建築物・火災					○応急危険度判定開始	○通電火災発生
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討(消防・警察・自衛隊) ○人員要請に対する調整(自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成) ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表	○食料物資供給事務 ○防災ヘリ偵察開始 ○災害救助法関連事務 ○ヘリテレによる映像受信 ○広域火葬計画に基づく火葬調整			
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援(食料・生活支援物資)、死体搬送、安置活動 ○人員要請(県・警察・自衛隊・医療関係者等) ○情報の整理(被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告)				
被災者、県民の動向			○避難所で避難が続く ○自主防災組織が救出活動 ○親戚・知人宅へ一部避難		○ライフライン復旧に伴い帰宅	
救出・応急医療救護		○投光器等により救出活動続く	○夜明け後、捜索・救出活動本格化  ○医薬品ヘリで到着 ○ヘリによる重症者の搬送本格化→岐阜、西濃、東濃の病院へ ○ヘリにより医療救護班、救出要員、資機材到着		○下呂市等に自衛隊応援部隊到着 ○下呂市等に消防応援隊到着→全国各地から到着 ○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始	
避難所		○避難者は寒さの中で一夜を明かす		○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給 ○仮設トイレ、暖房施設等設置		○避難所の自主運営開始

被害の様相（全体シナリオ）【阿寺断層系地震：冬季午前3時発生】

時間経過		地震発生（午前3時）	1時間後 （午前4時）	3時間後 （午前6時）	6時間後 （午前9時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■下呂市・加子母村・清見村・宮村・久々野町で概ね震度6強、一部震度7</li> <li>■飛騨南部・郡上市～東濃北部は震度6弱、岐阜・中濃南部・東濃南部は5弱～5強</li> <li>○地震発生時は真っ暗な状態</li> <li>■飛騨川沿い低地、加子母村の低地の狭い範囲で液状化発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○震度5程度の余震発生、今後も続く</li> <li>○余震により落石、雪崩が続けて発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気温0℃以下</li> </ul>	
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設で被害、断水発生</li> <li>○水道事業者職員が非常参集</li> <li>■下水道施設で被害発生</li> <li>○下水道職員が非常参集</li> <li>■倒壊家屋等に伴い広範囲に家庭プロパンガスの被害発生</li> <li>■飛騨南部・中濃北部・東濃北部を中心に停電</li> <li>○情報収集・点検</li> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱、液状化発生により発生</li> <li>○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話も輻輳発生</li> <li>○飛騨・東濃で通話の規制をかける</li> <li>○施設の点検開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> <li>○処理場の点検・応急措置開始</li> <li>○中濃・東濃などでは停電解消しはじめる</li> <li>○停電は飛騨南部など一部のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管路の点検開始</li> <li>○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査</li> <li>○電源車が出動するものの道路被害により立ち往生</li> <li>○電柱、電線等の点検開始</li> <li>○電話柱、電話線等の点検開始</li> </ul>	
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨・東濃北部の山間部の道路は、落石、崩壊により各所で寸断される→被害箇所交通ストップ→市町村孤立</li> <li>■西濃の山間部では、雪崩により各所で道路が埋没、崩壊、かなりの区間が雪で埋まる</li> <li>○東海北陸自動車道閉鎖→点検開始</li> <li>○国道41号は高山市～下呂市～美濃加茂市区間不通、国道257・256・472・158号も不通</li> <li>○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず</li> <li>○道路への雪崩、落石、崩壊で車両が巻き込まれる</li> <li>○国道・県道等道路管理者による点検・除雪開始→国道41・158号優先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東海北陸自動車道は緊急輸送路として開通</li> <li>→アクセス道路の被害で飛騨清見ICから先は渋滞</li> <li>○中濃で国道41号など救援車両と朝の通勤渋滞が重なる</li> <li>○高山市街地で警察による交通整理開始</li> </ul>		
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高山本線、長良川鉄道で落石、崩壊等により路線被害</li> <li>■上記路線駅構内で列車脱線</li> <li>○県下全ての列車緊急停止→○高山本線は駅間に貨物列車が立ち往生</li> <li>○緊急点検開始→飛騨は翌日以降</li> <li>○停電した駅は真っ暗</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○飛騨南部、東濃北部の路線バスは運休</li> <li>○高山本線、長良川鉄道は当分運休続く</li> <li>○高山本線、長良川鉄道以外は通常運行開始</li> </ul>	
建築物・火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約29,000棟、半壊約44,000棟（屋根への積雪で倒壊さらに増加）</li> <li>■炎上出火はほとんどない</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○中濃、東濃の消防応援部隊到着</li> </ul>	
県庁の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○宿直による状況把握</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員各自の非常参集開始</li> <li>○マスコミ対応</li> <li>○緊急初動特別班参集</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ</li> <li>○被害情報収集</li> <li>○地震情報収集</li> <li>○消防防災課・危機管理室等職員・災害対策本部要員参集</li> <li>○緊急初動特別班からの引継ぎ</li> <li>○市町村へ情報提供</li> <li>○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災ヘリ偵察開始</li> <li>○ヘリテレによる映像受信</li> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> </ul>	
市役所、町村役場の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信</li> <li>○災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員の非常参集開始</li> <li>○宿直による状況把握</li> <li>○非常参集者参集</li> <li>○最初動期の指揮活動</li> <li>○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○協定締結先に協力依頼</li> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○被災情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被災状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>	
被災者、県民の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認</li> <li>○出火した家屋で初期消火活動</li> <li>○西濃、岐阜、中濃南部、東濃南部は通常の社会状況</li> <li>○避難所に避難</li> <li>○自主防災組織による救出活動→暗闇のため困難</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンビニ、スーパーに殺到、食料・物資を購入→すぐに完売、品不足となる</li> </ul>		
救出・応急医療救護	<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約1,300人、重症者約1,600人、中等症者約9,400人</li> <li>■要救出者約3,300人</li> <li>○消防に救出依頼がよせられる</li> <li>○消防出動</li> <li>○救護所設置準備</li> <li>○夜間のため救出活動困難</li> <li>○負傷者が病院に殺到</li> <li>○孤立町村から病院への搬送困難</li> <li>○中濃、東濃、岐阜、西濃の消防本部から消防車、救急車の出動→国道41・257・472号を使用するものの到着困難</li> <li>○中濃、東濃、岐阜、西濃から医療救護班の出動→国道41・257・472号を使用するものの到着困難</li> <li>○孤立集落などでは救助困難</li> <li>○高山赤十字、木沢記念病院は重症者で満杯→県へ搬送要請→国道41号は通行困難</li> </ul>				
避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約9万人</li> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> <li>○断水地域は水洗トイレが使用不可能</li> <li>○避難所施設の管理者が建物を開ける</li> <li>○避難所ではライフライン途絶のため、電灯、暖房なし</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員による避難者の把握</li> </ul>	

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前9時)	12時間後 (午後3時)	24時間後 (午後6時)	3日目	5日目
地震等の状況	自然現象	○震度5程度の余震発生、今後も続く				
ライフライン	水道	○給水活動開始	○県下の水道事業者からの応援部隊到着		○給水活動本格化	○復旧工事開始→3週間から1ヶ月で復旧
	下水道			○県下の応援部隊到着		○復旧工事開始→数日で復旧
	ガス	○プロパン販売業者の点検開始				
	電気					○数日で復旧完了 ○建物倒壊地域で通電火災発生
	電話					○通話規制解除
交通	道路	○国道41号等の緊急輸送路の応急復旧工事開始 ○道路の点検開始→依然山間部の町村、集落は孤立	○余震により新たな箇所被害発生	○国道41・158号は開通	○落石除去、除雪等により軽微な被害箇所は通行可能 ○物資輸送のトラック等で国道41・158号はのろのろ運転 ○大規模崩壊箇所は復旧長期化	
	鉄道、バス			○路線バス運行開始 ○運休路線の代行バス運行開始		
建築物・火災				○応急危険度判定開始	○通電火災発生	
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討(消防・警察・自衛隊) ○人員要請に対する調整(自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成) ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表準備	○食料物資供給事務 ○災害救助法関連事務 ○広域火葬計画に基づく火葬調整			
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援(食料・生活支援物資)、死体搬送、安置活動 ○人員要請(県・警察・自衛隊・医療関係者等) ○情報の整理(被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告)				
被災者、県民の動向		○避難所で避難が続く ○自主防災組織が救出活動 ○親戚・知人宅へ一部避難				○ライフライン復旧に伴い帰宅
救出・応急医療救護					○下呂市等に自衛隊応援部隊到着 ○下呂市等に消防応援部隊到着→全国各地から到着 ○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始	
避難所		○避難者は寒さの中で一夜を明かす ○仮設トイレ、暖房施設等設置 ○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給				○避難所の自主運営開始



被害の様相（全体シナリオ）【跡津川断層地震：冬季午後6時発生】

時間経過		地震発生（午後6時）	1時間後 （午後7時）	3時間後 （午後9時）	6時間後 （午前0時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨市ほぼ全域・白川村北部、国府町・高山市・清見村の一部で概ね震度6強、飛騨は震度5強～6弱</li> <li>■東濃・岐阜・西濃・中濃圏域は概ね震度5弱～5強 ○地震発生時は日が暮れ真っ暗な状態</li> <li>■飛騨の山間部では雪崩発生 ○飛騨は気温0℃以下、積雪・降雪あり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○震度5程度の余震発生、今後も続く</li> <li>○余震により落石、雪崩が続いて発生</li> </ul>	
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設に被害、断水発生 ○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> <li>■下水道施設に被害 ○処理場の点検・応急措置開始</li> <li>■倒壊家屋等に伴って広範囲に家庭プロパンガスの被害発生</li> <li>■岐阜などでも都市ガスの一部に被害発生することもあり</li> <li>■飛騨を中心に停電 ○情報収集・点検</li> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱以上で発生 ○施設の点検開始</li> <li>○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話も、岐阜等から通話が困難</li> <li>○飛騨で通話の規制をかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管路の点検は夜間のためできず→翌朝から開始</li> <li>○管路の点検は夜間のためできず→翌朝から開始</li> <li>○飛騨南部などでは停電解消ははじめる</li> <li>○停電は飛騨市、上宝村、白川村、国府町、高山市など一部のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電源車が岐阜から出動するものの道路被害により立ち往生</li> </ul>	
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨の山間部の道路は、落石、崩壊により各所で寸断される→被害箇所で交通ストップ→各市町村孤立</li> <li>■飛騨の山間部では、雪崩により各所で道路が埋没、崩壊、かなりの区間が雪で埋まる</li> <li>○東海北陸自動車道閉鎖→点検開始 ○高山市街等で帰宅車両による渋滞発生 ○北陸自動車道を降りた車両等飛騨へ行けない車両で岐阜市、美濃市、美濃加茂市等の国道が渋滞</li> <li>○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず ○高山市街地で警察による交通整理開始 ○高山市、下呂市中心部から山間部への帰宅困難者の車両が立ち往生</li> <li>○国道・県道等道路管理者による除雪と点検開始→国道41号、158号優先</li> <li>○道路への雪崩、落石、崩壊で車両が巻き込まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○岐阜駅、大垣駅、美濃太田駅は、通勤客等があふれる。</li> <li>○駅間に停車中の列車から最寄りの駅に徒歩で避難</li> <li>○東海道本線、中央本線、太多線、名鉄線、近鉄線その他私鉄線が運転再開</li> <li>○スキー客、温泉宿泊客など滞留旅客発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東海北陸自動車道は緊急輸送路として開通</li> <li>→アクセス道路の被害で飛騨清見ICから先は交通ストップ</li> </ul>	
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高山本線、神岡鉄道で落石、崩壊などで路線被害 ○岐阜駅、大垣駅、美濃太田駅は、通勤客等があふれる。</li> <li>■高山線本線で列車脱線 ○駅間に停車中の列車から最寄りの駅に徒歩で避難</li> <li>○県下全ての列車緊急停止→○高山本線は駅間に列車が立ち往生</li> <li>○緊急点検開始→飛騨は明日以降</li> <li>○停電した飛騨圏域の駅は真っ暗 ○飛騨の路線バスも運行停止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東海道本線、中央本線、太多線、名鉄線、近鉄線その他私鉄線が運転再開</li> <li>○スキー客、温泉宿泊客など滞留旅客発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飛騨方面の帰宅困難者の一部が岐阜駅、美濃太田駅等で一夜を明かす</li> </ul>	
建築物・火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約19,000棟、半壊約32,000棟（屋根の積雪で倒壊さらに増加） ○消防車出動 ○断水地域では水の確保困難</li> <li>■約40件炎上出火、約100棟焼失 ○山間部の集落へは道路被害のため出動困難</li> <li>○雪に埋もれた家屋からも出火あり</li> </ul>				
県庁の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ ○市町村へ情報提供</li> <li>○被害情報収集 ○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○地震情報収集 ○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> <li>○マスコミへの被害状況公表準備（被害状況・対応状況）</li> </ul>		
市役所、町村役場の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信 ○最初動期の指揮活動</li> <li>○災害対策本部設置（自動） ○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○協定締結先に協力依頼</li> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>		
被災者、県民の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認 ○避難所に避難</li> <li>○出火した家屋で初期消火活動 ○自主防災組織による救出活動→暗闇のため困難</li> <li>○岐阜駅に大垣駅、美濃太田駅等に帰宅者困難者があふれる</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> <li>○飛騨圏域以外は通常の社会状況</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンビニ、スーパーに住民が殺到、食料・物資を購入→すぐに完売、品不足となる</li> </ul>		
救出・応急医療救護	<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約740人、重症者約1,000人、中等症者約6,000人</li> <li>■要救出者1,600人 ○消防に救出依頼がよせられる ○夜間・積雪のため救出活動困難</li> <li>○消防出動 ○救護所設置準備</li> <li>○負傷者が病院に殺到 ○高山市内など渋滞で救急車が立ち往生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町村から高山赤十字病院等への搬送が道路被災のため不可能</li> <li>○岐阜、西濃、中濃、西濃の消防本部から救急車の出動→北陸東海自動車道を使用するものの道路被害で高山方面へは到着困難</li> <li>○県の医療救護班、その他ボランティアの医師出動→北陸東海自動車道を使用するものの道路被害で高山方面へは到着困難</li> <li>○孤立集落などでは救助困難 ○高山赤十字病院など重症者で満杯→県へ搬送要請</li> </ul>			
避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約64,000人</li> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> <li>○残っていた教職員が避難者を案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所ではライフライン途絶のため、電灯、暖房なしで1夜を明かす</li> <li>○断水地域は水洗トイレが使用不可能 ○職員による避難者の把握</li> <li>○全避難者への食料、物資供給困難 ○帰宅困難者、滞留旅客が駅周辺の避難所に避難</li> </ul>			

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前0時)	12時間後 (午前6時)	24時間後 (午後6時)	3日目	5日目
地震等の 状況	自然現象		○震度5程度の余震発生、今後も続く ○夜が明ける ○気温0℃以下			
ライフ ライン	水道		○管路の点検開始 ○給水活動開始	○県下の水道事業者からの応援部隊到着 ○給水活動本格化		○復旧工事開始→3週間から1ヶ月で復旧 郡上市、下呂市は1ヶ月以上
	下水道		○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査	○県下の応援隊到着		○復旧工事開始→数日で復旧、岐阜市、飛騨市 は約1週間で復旧
	ガス		○プロパン販売業者の点検開始			○ガス管に被害があった場合、1ヶ月で復旧
	電気		○電柱、電線等の点検開始			○ほぼ復旧完了 ○建物倒壊地域で通電火災発生
	電話		○電話柱、電話線等の点検開始			○通話規制解除
交通	道路	○応援隊の車両が自動車道に集中しのろのろ運転	○国道41号等、第一次緊急輸送路の応急復旧工事開始 ○道路の点検開始→依然、飛騨の道路は寸断、市町村孤立 ○余震により新たな箇所被害発生		○国道41号、156号は開通、緊急車両、物資等のトラックでのろのろ運転	○落石除去、除雪で軽微な被害箇所は通行可能 ○大規模崩壊箇所は復旧長期化
	鉄道、バス		○飛騨圏域のバスは連休続く ○高山本線以外の鉄道は通常運行			○高山本線の代行バス運行 ○高山本線の被害箇所は当分復旧の見込みなし
建築物・火災						○応急危険度判定開始 ○通電火災発生
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊） ○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成） ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表	○食料物資供給事務 ○防災ヘリ偵察開始 ○災害救助法関連事務 ○ヘリテレによる映像受信 ○広域火葬計画に基づく火葬調整			
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援（食料・生活支援物資）、死体搬送、安置活動 ○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等） ○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）				
被災者、県民の動向			○避難所で避難が続く ○自主防災で救出活動 ○親戚・知人宅へ一部避難		○ライフライン復旧に伴い帰宅	
救出・応急医療救護		○投光器等により救出活動続く	○夜明け後、捜索・救出活動本格化 ○下呂市に消防応援隊到着→以後、全国各地から到着 ○下呂市に自衛隊応援部隊到着 ○医薬品ヘリで到着 ○ヘリによる重症者の搬送本格化→飛騨以外の災害拠点病院へ ○ヘリにより医療救護班、救出要員、資機材到着			○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始
避難所		○避難者は寒さの中で一夜を明かす	○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給 ○仮設トイレ、暖房施設等設置 ○避難者、要援護者の把握			○避難所の自主運営開始

被害の様相（全体シナリオ）【跡津川断層地震：冬季午前3時発生】

時間経過		地震発生（午前3時）	1時間後 （午前4時）	3時間後 （午前6時）	6時間後 （午前9時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨市ほぼ全域・白川村北部、国府町・高山市・清見村の一部で概ね震度6強、飛騨は震度5強～6弱</li> <li>■東濃・岐阜・西濃・中濃圏域は概ね震度5弱～5強 ○地震発生時は真っ暗な状態</li> <li>■飛騨の山間部で雪崩発生 ○飛騨は気温0℃以下、降雪・積雪あり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○震度5程度の余震発生、今後も続く</li> <li>○余震により落石、雪崩が続いて発生 ○夜が明ける</li> </ul>	
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設で被害、断水発生</li> <li>○水道事業者職員が非常参集</li> </ul> </li> <li>下水道                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■下水道施設で被害発生</li> <li>○下水道職員が非常参集</li> </ul> </li> <li>ガス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■倒壊家屋等に伴い広範囲に家庭プロパンガスの被害発生</li> <li>■岐阜などでも都市ガスの一部に被害発生することもあり</li> </ul> </li> <li>電気                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨を中心に停電</li> <li>○情報収集・点検</li> </ul> </li> <li>電話                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱以上で発生 ○施設の点検開始</li> <li>○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話も、岐阜等から通話が困難</li> <li>○飛騨で通話の規制をかける</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> <li>○処理場の点検・応急措置開始</li> <li>○飛騨南部などでは停電解消しはじめる</li> <li>○停電は飛騨市、上宝村、白川村、国府町、高山市など一部のみ ○電柱、電線等の点検開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管路の点検開始</li> <li>○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査</li> <li>○電源車が岐阜から出動するものの道路被害により立ち往生</li> <li>○電話柱、電話線等の点検開始</li> </ul>	
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨の山間部の道路は、落石、崩壊により各所で寸断される→被害箇所交通ストップ→各市町村孤立</li> <li>■飛騨の山間部では、雪崩により各所で道路が埋没、崩壊、かなりの区間がゆきで埋まる</li> <li>○東海北陸自動車道閉鎖→点検開始</li> <li>○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず</li> <li>○道路への雪崩、落石、崩壊に国道等の通行車両が巻き込まれる ○国道・県道等道路管理者による除雪、点検開始→国道41号・158号優先</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○東海北陸自動車道は緊急輸送路として開通→アクセス道路の被害で飛騨清見ICから先は交通ストップ</li> <li>○中濃、岐阜で通勤渋滞と道路被害による飛騨方面への渋滞が重なる</li> <li>○高山市街地で警察による交通整理開始</li> <li>○飛騨方面への道路は、応援車両でのろのろ運転</li> </ul>	
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高山本線、神岡鉄道で落石、崩壊などで路線被害</li> <li>■高山線本線駅構内で列車脱線</li> <li>○県下全ての列車緊急停止→高山本線は駅間に貨物列車が立ち往生</li> <li>○保線要員非常参集→緊急点検開始</li> <li>○停電した飛騨圏域の駅は真っ暗</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○飛騨の路線バスは始発から運休</li> <li>○高山本線は当分運休続く</li> <li>○高山本線以外は通常運行開始</li> <li>○スキー客、温泉宿泊客など滞留旅客発生</li> </ul>	
建築物・火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約19,000棟、半壊約32,000棟（屋根の積雪で倒壊さらに増加）</li> <li>■炎上出火ほとんどない</li> </ul>				
県庁の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○宿直による状況把握</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員各自の非常参集開始</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急初動特別班参集</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ</li> <li>○被害情報収集</li> <li>○地震情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防防災課・危機管理室等職員・災害対策本部要員参集</li> <li>○緊急初動特別班からの引継ぎ</li> <li>○市町村へ情報提供</li> <li>○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災ヘリ偵察開始 ○ヘリテレによる映像受信</li> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> </ul>	
市役所、町村役場の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信</li> <li>○災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員の非常参集開始</li> <li>○宿直による状況把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非常参集者参集</li> <li>○最初動期の指揮活動</li> <li>○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○協定締結先に協力依頼</li> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○被災者への被害状況公表準備（被害状況・対応状況）</li> <li>○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>	
被災者、県民の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認</li> <li>○出火した家で初期消火活動</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所に避難</li> <li>○自主防災組織による救出活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○暗闇のため困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンビニ、スーパーに住民が殺到、食料・物資を購入→すぐに完売、品不足となる</li> <li>○自主防災組織による救出活動</li> <li>○飛騨圏域以外は通常の社会状況</li> </ul>	
救出・応急医療救護	<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約850人、重症者約1,300人、中等症者約7,400人</li> <li>■要救出者約2,100人</li> <li>○消防に救出依頼がよせられる</li> <li>○消防出動</li> <li>○夜間のため救出活動困難</li> <li>○負傷者が病院に殺到</li> <li>○救護所設置準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○岐阜、西濃、中濃、西濃の消防本部から救急車の出動→北陸東海自動車道を使用するものの道路被害で到着困難</li> <li>○県の医療救護班、その他ボランティアの医師出動→北陸東海自動車道を使用するものの道路被害で到着困難</li> <li>○高山赤十字病院など重症者で満杯→県へ搬送要請</li> <li>○ヘリによる重症者の搬送開始→飛騨以外の災害拠点病院へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町村から高山赤十字病院等への搬送が道路被災のため不可能</li> <li>○北陸東海自動車道を使用するものの道路被害で到着困難</li> <li>○北陸東海自動車道を使用するものの道路被害で到着困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヘリで医薬品、医療救護班到着</li> </ul>	
避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約64,000人</li> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所施設の管理者が建物を開ける</li> <li>○避難所ではライフライン途絶のため、電灯、暖房なし</li> <li>○断水地域は水洗トイレが使用不可能</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員による避難者の把握</li> </ul>	

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前9時)	12時間後 (午後3時)	24時間後 (午前3時)	3日目	5日目
地震等の 状況	自然現象		○震度5程度の余震発生、今後も続く ○日没			
ライフ ライン	水道	○給水活動開始	○県下の水道事業者からの応援部隊到着		○給水活動本格化	○復旧工事開始→3週間から1ヶ月で復旧 郡上市、下呂市などは1ヶ月以上
	下水道			○県下からの応援隊到着		○復旧工事開始→数日で復旧、岐阜市、飛騨市は 約1週間で復旧
	ガス	○プロパン販売業者の点検開始				○ガス管に被害があった場合、1ヶ月で復旧
	電気					○ほぼ復旧完了 ○建物倒壊地域で通電火災発生
	電話					○通話規制解除
交通	道路	○応援隊の車両が自動車道に集中しのろのろ運転 ○国道41号等、第一次緊急輸送路の除雪、応急復旧工事開始 ○道路の点検開始→依然、飛騨の道路は寸断、市町村孤立	○余震により新たな箇所被害発生		○国道41号、156号は開通、緊急車両、物資等のトラックでのろのろ運転	○大規模崩壊箇所は復旧長期化 ○落石除去、除雪で軽微な被害箇所は通行可能
	鉄道、バス					○高山本線の代行バス運行 ○高山本線の被害箇所は当分復旧見込みなし
建築物・火災					○応急危険度判定開始	○通電火災発生
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討(消防・警察・自衛隊) ○人員要請に対する調整(自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成) ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表	○食料物資供給事務 ○災害救助法関連事務 ○広域火葬計画に基づく火葬調整			
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援(食料・生活支援物資)、死体搬送、安置活動 ○人員要請(県・警察・自衛隊・医療関係者等) ○情報の整理(被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告)				
被災者、県民の動向		○避難所で避難が続く ○親戚・知人宅へ一部避難				○ライフライン復旧に伴い帰宅
救出・応急医療救護			○下呂市に消防応援隊到着→以後、全国各地から到着 ○下呂市に自衛隊応援部隊到着			○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始
避難所		○避難者は寒さの中で一夜を明かす ○仮設トイレ、暖房施設等設置 ○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給				○避難所の自主運営開始

被害の様相（全体シナリオ）【関ヶ原一養老断層系地震：冬季午後6時発生】

時間経過		地震発生（午後6時）	1時間後 （午後7時）	3時間後 （午後9時）	6時間後 （午前0時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西濃・岐阜の南部で概ね震度6弱以上、海津町・大垣市・養老町・上石津町・垂井町・関ヶ原町等で震度6強</li> <li>■西濃・岐阜・中濃南部・東濃は概ね震度5弱～5強</li> <li>○地震発生時は日が暮れ真っ暗な状態</li> <li>■大垣市、海津町等西濃の低地部のかなりの範囲で液状化発生</li> </ul>	○震度5程度の余震発生	○震度5程度の余震発生、今後も続く	○気温0℃以下
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設に被害、断水発生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> </ul> </li> <li>■下水道施設に被害発生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○処理場の点検・応急措置開始</li> </ul> </li> <li>■岐阜市、各務原市で都市ガスに障害、倒壊家屋等に伴い広範囲に家庭プロパンガスの被害発生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ガス緊急停止</li> <li>○ガス製造施設、貯蔵施設の点検・応急措置開始</li> </ul> </li> <li>■西濃・岐阜を中心に停電                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報収集・点検</li> </ul> </li> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱、液状化発生により発生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の点検開始</li> <li>○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話も、岐阜等から通話が困難</li> <li>○西濃・岐阜で通話の規制をかける</li> </ul> </li> </ul>	○管路の点検は夜間のためできず→翌朝から開始	○管路の点検は夜間のためできず→翌朝から開始	○電源車が出動するものの道路被害により立ち往生
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■液状化により西濃・岐阜南部の低地部の道路の橋梁、盛土で被害発生→被害箇所交通ストップ</li> <li>■西濃の山間地で落石等被害                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○大垣市街地、岐阜市街地で帰宅車両による渋滞発生→未明まで続く</li> </ul> </li> <li>○名神高速道路閉鎖→点検開始</li> <li>○国道21号・22号・258号・303号は全線でのろのろ運転→長距離トラックなどが国道に集中し、渋滞助長する</li> <li>○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず</li> <li>○大垣・岐阜市街地で警察による交通整理開始</li> <li>○液状化地域で信号機破損</li> <li>○国道・県道等道路管理者による点検開始</li> </ul>	○名神高速道路は緊急輸送路として開通→アクセス道路の被害で大垣・関ヶ原ICから先は渋滞		
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東海道本線、樽見鉄道、近鉄養老線、名鉄竹鼻線で液状化により路線被害</li> <li>■上記路線で列車脱線                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○岐阜駅、大垣駅等のターミナル駅、各駅に通勤客等があふれる</li> <li>○飛騨以外の全ての列車緊急停止→駅間に列車が立ち往生</li> <li>○駅間に停車中の列車から最寄りの駅に徒歩で避難</li> <li>○西濃、岐阜の路線バスは渋滞に巻き込まれる</li> <li>○緊急点検開始</li> </ul> </li> </ul>			○帰宅困難者の一部が岐阜駅、大垣駅その他駅で一夜を明かす
建築物・火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約32,000棟、半壊約75,000棟</li> <li>■約70件炎上出火、約300棟焼失                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○消防車出動</li> <li>○断水地域では水の確保困難</li> </ul> </li> </ul>		○渋滞のため消火現場への移動が困難		○中濃、東濃の消防応援部隊到着
県庁の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ</li> <li>○被害情報収集</li> <li>○地震情報収集</li> <li>○市町村へ情報提供</li> <li>○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> </ul>	
市役所、町村役場の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信</li> <li>○災害対策本部設置（自動）</li> <li>○協定締結先に協力依頼                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul> </li> <li>○最初動期の指揮活動</li> <li>○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○マスコミへの被害状況公表準備（被害状況・対応状況）</li> <li>○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>	
被災者、県民の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認</li> <li>○出火した家屋で初期消火活動</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> <li>○西濃、岐阜の南部以外は通常の社会状況</li> <li>○避難所に避難</li> <li>○自主防災組織による救出活動→暗闇のためは困難</li> <li>○鉄道の止まった駅に帰宅者困難者があふれる</li> <li>○避難所が満杯</li> <li>○コンビニ、スーパーに住民が殺到、食料・物資を購入→すぐに完売、品不足となる</li> </ul>		○交通渋滞、交通機関途絶のため帰宅困難者が多数発生	○帰宅困難者が暗闇の中を徒歩で帰宅しはじめる	
救出・応急医療救護	<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約1,400人、重症者2,600人、中等症者約14,800人</li> <li>■要救出者約3,600人                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○消防に救出依頼がよせられる</li> <li>○消防出動</li> <li>○救護所設置準備</li> <li>○夜間のため救出活動困難</li> <li>○負傷者が病院に殺到</li> </ul> </li> </ul>		○大垣市内、岐阜市内、国道などが渋滞、重症者搬送の救急車が立ち往生	○大垣市民、県立岐阜、岐阜赤十字、岐大病院など重症者で満杯→県へ搬送要請	
避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約184,000人                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> <li>○残っていた教職員が避難者を案内</li> </ul> </li> </ul>		○避難所ではライフライン途絶のため、電灯、暖房なしで1夜を明かす	○職員による避難者の把握	

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前0時)	12時間後 (午前6時)	24時間後 (午後6時)	3日目	5日目
地震等の状況	自然現象		○震度5程度の余震発生、今後も続く ○気温0℃以下 ○夜が明ける			
ライフライン	水道		○管路の点検開始 ○給水活動開始	○県下の水道事業者からの応援部隊到着	○給水活動本格化	○復旧工事開始→東濃・飛騨は3週間で復旧 西濃・岐阜・中濃は1ヶ月で復旧、山県市、瑞穂市は1ヶ月以上
	下水道		○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査		○県下の応援隊到着	○復旧工事開始→数日で復旧、大垣市2週間 岐阜市3週間で復旧
	ガス		○管路の点検開始 ○プロパン販売業者の点検開始			○復旧工事開始→約2ヶ月で復旧
	電気		○電柱、電線等の点検開始			○ほぼ復旧完了 ○建物倒壊地域で通電火災発生
	電話		○電話柱、電話線等の点検開始			○通話規制解除
交通	道路		○国道等の緊急輸送路の応急復旧工事開始 ○国道その他の主要道路の渋滞は続く		○緊急輸送路の構造物被害箇所以外は開通 ○救援物資のトラック等で国道21号・22号・258号は渋滞続く	
	鉄道、バス		○岐阜、西濃のバスは始発から運休 ○被害のなかった路線は通常運行 ○東海道本線、近鉄養老線等は運休→復旧まで			○路線バス運行開始 ○運休路線の代行バス運行開始
建築物・火災					○応急危険度判定開始	○通電火災発生
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊） ○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成） ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表	○食料物資供給事務 ○防災ヘリ偵察開始 ○災害救助法関連事務 ○ヘリテレによる映像受信 ○広域火葬計画に基づく火葬調整			
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援（食料・生活支援物資）、死体搬送、安置活動 ○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等） ○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）				
被災者、県民の動向			○避難所で避難が続く ○自主防災組織が救出活動 ○親戚・知人宅へ一部避難		○ライフライン復旧に伴い帰宅	
救出・応急医療救護		○投光器等により救出活動続く	○夜明け後、捜索・救出活動本格化 ○医薬品ヘリで到着 ○ヘリによる重症者の搬送本格化→中濃、東濃、飛騨の病院へ			○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始
避難所		○避難者は寒さの中で一夜を明かす		○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給 ○仮設トイレ、暖房施設等設置		○避難所の自主運営開始

被害の様相（全体シナリオ）【関ヶ原一養老断層系地震：冬季午前3時発生】

時間経過		地震発生（午前3時）	1時間後 （午前4時）	3時間後 （午前6時）	6時間後 （午前9時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西濃・岐阜の南部で概ね震度6弱以上、海津町・大垣市・養老町・上石津町・垂井町・関ヶ原町等で震度6強</li> <li>■西濃・岐阜・中濃南部・東濃は概ね震度5弱～5強 ○地震発生時は真っ暗な状態</li> <li>■大垣市、海津町等西濃の低地部のかなりの範囲で液状化発生</li> </ul>	○震度5程度の余震発生	○震度5程度の余震発生、今後も続く	○夜が明ける ○気温0℃以下
	水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設に被害、断水発生</li> </ul>	○水道事業者職員が非常参集	○水源地、浄水場の点検・応急措置開始	○管路の点検開始
ライフライン	下水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■下水道施設に被害</li> </ul>	○下水道職員が非常参集	○処理場の点検・応急措置開始	○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査
	ガス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■岐阜市、各務原市で都市ガスに障害、倒壊家屋等に伴って広範囲に家庭プロパンガスの被害発生</li> <li>○ガス緊急停止 ○社員非常参集</li> <li>○ガス製造施設、貯蔵施設の点検・応急措置開始</li> </ul>			○管路の点検開始
	電気	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西濃・岐阜を中心に停電</li> </ul>	○情報収集・点検	○西濃・岐阜北部、中濃などでは停電解消ははじめる ○停電は西濃・岐阜南部など一部のみ	○電源車が出動するものの道路被害により立ち往生 ○電柱、電線等の点検開始
	電話	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱、液状化発生により発生 ○施設の点検開始</li> <li>○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話も輻輳する</li> <li>○西濃・岐阜で通話の規制をかける</li> </ul>			○電話柱、電話線等の点検開始
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■液状化により西濃・岐阜低地部の道路の橋梁、盛土で被害発生→被害箇所交通ストップ</li> <li>■西濃の山間地で落石等被害</li> <li>○名神高速道路閉鎖→点検開始</li> <li>○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず</li> <li>○液状化地域で信号機破損</li> <li>○国道・県道等道路管理者による点検開始</li> </ul>		○名神高速道路は緊急輸送路として開通→アクセス道路の被害で大垣・関ヶ原ICから先は交通ストップ ○国道21号・22号などの幹線が渋滞ははじめる ○国道365・303・258・256など岐阜・西濃への道路が	○大垣市街地、岐阜市街地等で渋滞顕著になる ○大垣・岐阜市街地で警察による交通整理開始 混み始める
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東海道本線、樽見鉄道、近鉄養老線、名鉄竹鼻線等液状化により路線被害</li> <li>■上記路線の駅構内で列車脱線</li> <li>○運行中の貨物列車緊急停止</li> <li>○保線要員非常参集→緊急点検開始</li> </ul>			○西濃の路線バスは始発から運休 ○東海道本線、近鉄養老線、名鉄竹鼻線等は当分運休続く ○高山本線、太多線、中央本線、長良川鉄道等被害のない路線は通常運行開始
建築物・火災		<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約32,000棟、半壊約75,000棟</li> <li>■炎上出火ほとんどなし</li> </ul>			
県庁の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○宿直による状況把握</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員各自の非常参集開始</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急初動特別班参集</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ</li> <li>○被害情報収集</li> <li>○地震情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防防災課・危機管理室等職員・災害対策本部要員参集</li> <li>○緊急初動特別班からの引継ぎ</li> <li>○市町村へ情報提供</li> <li>○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災ヘリ偵察開始 ○ヘリテレによる映像受信</li> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> </ul>
市役所、町村役場の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信</li> <li>○災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員の非常参集開始</li> <li>○宿直による状況把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非常参集者参集</li> <li>○最初動期の指揮活動</li> <li>○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○協定締結先に協力依頼</li> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>
被災者、県民の動向		<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認</li> <li>○出火した家屋で初期消火活動</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所に避難</li> <li>○自主防災組織による救出活動→暗闇のため困難</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○コンビニ、スーパーに住民が殺到、食料・物資を購入→すぐに完売、品不足となる</li> <li>○自主防災組織による救出活動</li> <li>○西濃、岐阜圏域以外は通常の社会状況</li> </ul>
救出・応急医療救護		<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約2,200人、重症者約3,300人、中等症者約18,900人</li> <li>■要救出者約5,200人</li> <li>○消防に救出依頼がよせられる</li> <li>○消防出動</li> <li>○救護所設置準備</li> <li>○夜間のため救出活動困難</li> <li>○負傷者が病院に殺到</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○中濃、東濃、飛騨、愛知県、三重県の消防本部から救急車の出動→道路渋滞に巻き込まれる</li> <li>○中濃、東濃、飛騨、愛知県、三重県の医療救護班派遣→道路渋滞に巻き込まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重機が出動 ○ヘリで医薬品到着</li> <li>○重症者の搬送救急車が渋滞に巻き込まれる</li> <li>○大垣市民、県立岐阜、岐阜赤十字、岐大病院など重傷者で満杯→県へ搬送要請</li> <li>○ヘリによる重症者の搬送開始→災害拠点病院へ</li> </ul>
避難所		<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約184,000人</li> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> <li>○断水地域は水洗トイレが使用不可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所施設の管理者が建物を開ける</li> <li>○避難所ではライフライン途絶のため、電灯、暖房なし</li> <li>○職員による避難者の把握</li> </ul>		

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前9時)	12時間後 (午後3時)	24時間後 (午前3時)	3日目	5日目
地震等の 状況	自然現象		○震度5程度の余震発生、今後も続く ○日没			
ライフ ライン	水道	○給水活動開始	○県下の水道事業者からの応援部隊到着	○給水活動本格化	○復旧工事開始→東濃・飛騨は3週間で復旧 西濃・岐阜・中濃は1ヶ月で復旧、山県市、 瑞穂市は1ヶ月以上	
	下水道			○県下からの応援部隊到着	○復旧工事開始→数日で復旧、太垣市2週間 岐阜市3週間で復旧	
	ガス	○プロパン販売業者の点検開始			○復旧工事開始→約2ヶ月で復旧	
	電気				○ほぼ復旧完了 ○建物倒壊地域で通電火災発生	
	電話				○通話規制解除	
交通	道路	○国その他主要道路の渋滞は続く ○国道等の応急復旧工事開始		○緊急輸送路の構造物被害箇所以外は開通 ○物資輸送車両で国道は渋滞		
	鉄道、バス				○西濃の路線バス運行開始 ○運休路線の代行バス運行開始	
建築物・火災				○応急危険度判定開始	○通電火災発生	
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊） ○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成） ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表	○食料物資供給事務 ○災害救助法関連事務 ○広域火葬計画に基づく火葬調整			
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援（食料・生活支援物資）、死体搬送、安置活動 ○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等） ○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）				
被災者、県民の動向		○避難所で避難が続く ○親戚・知人宅へ一部避難			○ライフライン復旧に伴い帰宅	
救出・応急医療救護		○医療活動続く			○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始	
避難所		○避難者は寒さの中で一夜を明かす ○仮設トイレ、暖房施設等設置 ○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給			○避難所の自主運営開始	



被害の様相（全体シナリオ）【高山・大原断層系地震：冬季午後6時発生】

時間経過		地震発生（午後6時）	1時間後 （午後7時）	3時間後 （午後9時）	6時間後 （午前0時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■下呂市の北西部・久々野町・宮村・清見村南部・郡上市北東部・高山市で震度6強、一部震度7</li> <li>■飛騨中央から郡上市にかけて概ね震度6弱、岐阜・中濃・東濃は震度5弱～5強</li> <li>○地震発生時は日が暮れ真っ暗な状態</li> <li>■山間部低地の狭い範囲で液状化発生</li> </ul>	○震度5程度の余震発生、今後も続く	○気温0℃以下	
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設に被害、断水発生</li> <li>○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> <li>■下水道施設に被害</li> <li>○処理場の点検・応急措置開始</li> <li>■倒壊家屋等広範囲に家庭プロパンガスの被害発生</li> <li>■岐阜などでも都市ガスの一部に被害発生することもあり</li> <li>■飛騨・中濃北部を中心に停電</li> <li>○情報収集・点検</li> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱により発生</li> <li>○施設の点検開始</li> <li>○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話も輻輳発生</li> <li>○飛騨で通話の規制をかける</li> </ul>	○管路の点検は夜間のためできず→翌朝から開始	○停電解消しはじめる	○電源車が出動するものの道路被害により立ち往生
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨山間部の道路は、落石、崩壊により各所で寸断される→被害箇所で交通ストップ→市町村孤立</li> <li>■山間部では、雪崩により各所で道路が埋没、崩壊、かなりの区間が雪で埋まる</li> <li>○東海北陸自動車道閉鎖→点検開始</li> <li>○高山市街地で帰宅車両による渋滞発生→未明まで続く</li> <li>○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず</li> <li>○高山市街地で警察による交通整理開始</li> <li>○道路への雪崩、落石、崩壊で車両が巻き込まれる</li> <li>○国道・県道等道路管理者による点検・除雪開始→国道41・158号優先</li> </ul>	○国道41号は高山市～下呂市区間不通、国道257・472・158・361号も不通	○東海北陸自動車道は緊急輸送路として開通	○国道158号の被害で飛騨清見・荘川ICから先は渋滞
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高山本線、長良川鉄道で落石、崩壊等より路線被害</li> <li>■上記路線で列車脱線</li> <li>○県下全ての列車緊急停止→○高山本線、長良川鉄道は駅間に列車が立ち往生</li> <li>○緊急点検開始→飛騨は明日以降</li> <li>○下呂駅、高山駅に観光客が残される</li> <li>○駅間に停車中の列車から最寄りの駅に徒歩で避難</li> <li>○高山本線、長良川鉄道以外は運転再開</li> <li>○美濃太田駅に下呂方面、白鳥方面への帰宅困難者がでる</li> </ul>			○帰宅困難者、滞留旅客の一部が美濃太田、下呂、高山駅で一夜を過ごす
建築物・火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約27,000棟、半壊約41,000棟（屋根への積雪で倒壊さらに増加）</li> <li>■約60件炎上出火、約180棟焼失</li> <li>○断水地域では水の確保困難</li> <li>○消防車出動</li> <li>○雪に埋もれた家屋からの出火あり</li> <li>○山間部の集落へは道路被害のため出動困難</li> </ul>			○飛騨、中濃等近隣から消防応援部隊到着	
県庁の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ</li> <li>○被害情報収集</li> <li>○地震情報収集</li> <li>○市町村へ情報提供</li> <li>○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> <li>○マスコミへの被害状況公表準備（被害状況・対応状況）</li> </ul>	
市役所、町村役場の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信</li> <li>○災害対策本部設置（自動）</li> <li>○協定締結先に協力依頼</li> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> <li>○最初動期の指揮活動</li> <li>○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○避難所に避難</li> <li>○自主防災組織による救出活動→暗闇のため困難</li> <li>○鉄道の止まった駅に帰宅者困難者があふれる</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> <li>○西濃、岐阜、中濃南部、東濃は通常の社会状況</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>	
被災者、県民の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認</li> <li>○出火した家屋で初期消火活動</li> <li>○避難所に避難</li> <li>○自主防災組織による救出活動→暗闇のため困難</li> <li>○鉄道の止まった駅に帰宅者困難者があふれる</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> <li>○西濃、岐阜、中濃南部、東濃は通常の社会状況</li> </ul>			○コンビニ、スーパーに住民が殺到、食料・物資を購入→すぐに完売、品不足となる	
救出・応急医療救護	<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約1,100人、重症者約1,300人、中等症者約7,200人</li> <li>■要救出者約2,400人</li> <li>○消防に救出依頼がよせられる</li> <li>○消防出動</li> <li>○救護所設置準備</li> <li>○夜間のため救出活動困難</li> <li>○負傷者が病院に殺到</li> <li>○孤立町村から病院への搬送困難</li> <li>○中濃、東濃、岐阜、西濃の消防本部から消防車、救急車の出動→国道41・156、東海北陸自動車道を使用するもの高山方面へは到着困難</li> <li>○中濃、東濃、岐阜、西濃から医療救護班の出動→国道41・156、東海北陸自動車道を使用するもの高山方面へは到着困難</li> <li>○孤立集落などでは救助困難</li> <li>○高山赤十字は重症者で満杯→県へ搬送要請→国道41・158号は通行困難</li> <li>○下呂市、郡上市から中濃・岐阜・東濃へ重症者搬送</li> </ul>				
避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約87,000人</li> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> <li>○残っていた教職員が避難者を案内</li> <li>○避難所ではライフライン途絶のため、電灯、暖房なしで1夜を明かす</li> <li>○断水地域は水洗トイレが使用不可能</li> <li>○全避難者への食料、物資供給困難</li> <li>○職員による避難者の把握</li> <li>○帰宅困難者、滞留旅客が駅周辺の避難所に避難</li> </ul>				

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前0時)	12時間後 (午前6時)	24時間後 (午後6時)	3日目	5日目
地震等の 状況	自然現象		○震度5程度の余震発生、今後も続く ○夜が明ける ○気温0℃以下			
ライフライン	水道		○管路の点検開始 ○給水活動開始	○県下の水道事業者からの応援部隊到着	○給水活動本格化	○復旧工事開始→西濃・岐阜・東濃は3週間、中濃・飛騨は1ヶ月で復旧、下呂市、郡上市などは1ヶ月以上
	下水道		○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査		○県下の応援隊到着	○復旧工事開始→数日で復旧
	ガス		○プロパン販売業者の点検開始			○ガス管に被害があった場合、1ヶ月で復旧
	電気		○電柱、電線等の点検開始			○ほぼ復旧完了 ○建物倒壊地域で通電火災発生
	電話		○電話柱、電話線等の点検開始			○通話規制解除
交通	道路		○国道41・158号等の緊急輸送路の応急復旧工事開始 ○道路の点検開始→依然山間部の町村、集落は孤立  ○余震により新たな箇所で被害発生			○落石除去、除雪等により軽微な被害箇所は通行可能 ○国道158号は復旧 ○物資輸送のトラック等で国道158・41号はのろのろ運転 ○大規模崩壊箇所は復旧長期化
	鉄道、バス		○飛騨南部のバスは始発から運休 ○被害のなかった路線は通常運行 ○高山本線、長良川鉄道以外は通常運行			○路線バス運行開始 ○運休路線の代行バス運行開始
建築物・火災					○応急危険度判定開始	○通電火災発生
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討(消防・警察・自衛隊)  ○人員要請に対する調整(自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成) ○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表	○食料物資供給事務 ○防災ヘリ偵察開始 ○災害救助法関連事務 ○ヘリテレによる映像受信 ○広域火葬計画に基づく火葬調整			
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援(食料・生活支援物資)、死体搬送、安置活動 ○人員要請(県警察・自衛隊・医療関係者等) ○情報の整理(被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認)	○生活支援物資 ○応援要請箇所報告			
被災者、県民の動向			○避難所で避難が続く ○自主防災組織が救出活動 ○親戚・知人宅へ一部避難		○ライフライン復旧に伴い帰宅	
救出・応急医療救護		○投光器等により救出活動続く	○夜明け後、捜索・救出活動本格化  ○医薬品ヘリで到着 ○ヘリによる重症者の搬送本格化→岐阜、西濃、中濃、東濃の病院へ ○ヘリにより医療救護班、救出要員、資機材到着		○下呂市等に自衛隊応援部隊到着 ○下呂市等に消防応援隊到着→全国各地から到着	○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始
避難所		○避難者は寒さの中で一夜を明かす	○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給	○仮設トイレ、暖房施設等設置		○避難所の自主運営開始

被害の様相（全体シナリオ）【高山・大原断層系地震：冬季午前3時発生】

時間経過		地震発生（午前3時）	1時間後 （午前4時）	3時間後 （午前6時）	6時間後 （午前9時）
地震等の状況	自然現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>■下呂市の北西部・久々野町・宮村・清見村南部・郡上市北東部・高山市で震度6強、一部震度7</li> <li>■飛騨中央から郡上市にかけて概ね震度6弱、岐阜・中濃・東濃は震度5弱～5強</li> <li>○地震発生時は真っ暗な状態</li> <li>■山間部低地の狭い範囲で液状化発生</li> </ul>	○震度5程度の余震発生、今後も続く	○気温0℃以下	
	ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道施設に被害、断水発生</li> <li>○水道事業者職員が非常参集</li> <li>■下水道施設に被害</li> <li>○下水道職員が非常参集</li> <li>■倒壊家屋等に伴い広範囲に家庭プロパンガスの被害発生</li> <li>■岐阜などでも都市ガスの一部に被害発生することもあり</li> <li>■飛騨・中濃北部を中心に停電</li> <li>○情報収集・点検</li> <li>■電話柱の折損、電話線の切断が震度6弱により発生</li> <li>○施設の点検開始</li> <li>○地震直後から電話の輻輳が始まる、携帯電話も輻輳発生</li> <li>○飛騨で通話の規制をかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源地、浄水場の点検・応急措置開始</li> <li>○処理場の点検・応急措置開始</li> <li>○停電解消しはじめる</li> <li>○停電は郡上市、下呂市、久々野町、清見村など一部のみ</li> </ul>	○管路の点検開始	○管路の点検開始→2日目まで目視調査、続いて被害箇所調査
交通	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■飛騨山間部の道路は、落石、崩壊により各所で寸断される→被害箇所交通ストップ→市町村孤立</li> <li>■山間部では、雪崩により各所で道路が埋没、崩壊、かなりの区間が雪で埋まる</li> <li>○東海北陸自動車道閉鎖→点検開始</li> <li>○停電地区の信号機は非常電源が作動、一部点灯せず</li> <li>○道路への雪崩、落石、崩壊で車両が巻き込まれる</li> <li>○国道・県道等道路管理者による点検・除雪開始→国道41・158号優先</li> </ul>	○国道41号は高山市～下呂市区間不通、国道257・472・158・361号も不通	○東海北陸自動車道は緊急輸送路として開通 →国道158号の被害で飛騨清見・荘川ICから先は渋滞	○中濃で国道41号など救援車両と朝の通勤渋滞が重なる ○高山市街地で警察による交通整理開始
	鉄道、バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高山本線、長良川鉄道で落石、崩壊等より路線被害</li> <li>■上記路線駅構内で列車脱線</li> <li>○県下全ての列車緊急停止→○高山本線は駅間に貨物列車が立ち往生</li> <li>○緊急点検開始→飛騨は明日以降</li> </ul>		○飛騨の路線バスは運休	○高山本線、長良川鉄道は当分運休続く ○高山本線、長良川鉄道以外は通常運行開始
建築物・火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全壊約27,000棟、半壊約41,000棟（屋根への積雪で倒壊さらに増加）</li> <li>■炎上出火ほとんどなし</li> </ul>			○飛騨、中濃等近隣の消防応援部隊到着	
県庁の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象庁地震関連情報一斉通知</li> <li>○宿直による状況把握</li> <li>○県災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員各自の非常参集開始</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急初動特別班参集</li> <li>○災害情報集約センター立ち上げ</li> <li>○被害情報収集</li> <li>○地震情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防防災課・危機管理室等職員・災害対策本部要員参集</li> <li>○緊急初動特別班からの引継ぎ</li> <li>○市町村へ情報提供</li> <li>○各部局による対策の実施状況把握</li> <li>○県庁舎等県有施設被害把握（→県庁舎使用不可の場合、防災交流センター移動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災ヘリ偵察開始</li> <li>○ヘリテレによる映像受信</li> <li>○総合災害対策チーム活動開始</li> <li>○被害情報収集、関係機関に通知</li> <li>○要救助箇所推測</li> <li>○応援部隊投入検討（消防・警察・自衛隊）</li> <li>○人員要請に対する調整（自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○随時本部員会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定</li> <li>○マスコミへの被害状況公表準備（被害状況・対応状況）</li> </ul>
市役所、町村役場の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県地震関連情報受信</li> <li>○災害対策本部設置（自動）</li> <li>○職員の非常参集開始</li> <li>○宿直による状況把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非常参集者参集</li> <li>○最初動期の指揮活動</li> <li>○情報収集・消火活動・救出活動・救護所設置・避難所設置指示</li> <li>○協定締結先に協力依頼</li> <li>○地域住民へ広報</li> <li>○マスコミ対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○被災情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援活動</li> <li>○人員要請（県・警察・自衛隊・医療関係者等）</li> <li>○情報の整理（被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告）</li> </ul>	
被災者、県民の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近所同士の安否確認</li> <li>○出火した家屋で初期消火活動</li> <li>○親戚・知人に電話で安否確認→つながらず</li> <li>○西濃、岐阜、中濃南部、東濃は通常の社会状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所に避難</li> <li>○自主防災組織による救出活動→暗闇のためは困難</li> </ul>	○コンビニ、スーパーに住民が殺到、食料・物資を購入→すぐに完売		
救出・応急医療救護	<ul style="list-style-type: none"> <li>■死者約1,400人、重症者約1,500人、中等症者約8,800人</li> <li>■要救出者3,400人</li> <li>○消防に救出依頼がよせられる</li> <li>○消防出動</li> <li>○救護所設置準備</li> <li>○夜間のため救出活動困難</li> <li>○負傷者が病院に殺到</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○孤立町村から病院への搬送困難</li> <li>○中濃、東濃、岐阜、西濃の消防本部から消防車、救急車の出動→国道41・156・東海北陸自動車道を使用するもの高山方面へは到着困難</li> <li>○中濃、東濃、岐阜、西濃から医療救護班の出動→国道41・156・東海北陸自動車道を使用するもの高山方面へは到着困難</li> <li>○孤立集落などでは救助困難</li> <li>○高山赤十字は重症者で満杯→県へ搬送要請→国道41・158号は通行困難</li> </ul>	○郡上市、下呂市からは中濃・岐阜・東濃へ重症者搬送		
避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難者約87,000人</li> <li>○被災地では避難所となる学校等に住民が集まりはじめる</li> <li>○断水地域は水洗トイレが使用不可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所施設の管理者が建物を開ける</li> <li>○避難所ではライフライン途絶のため、電灯、暖房なし</li> </ul>		○職員による避難者の把握	

情報の空白期



時間経過		6時間後 (午前9時)	12時間後 (午後3時)	24時間後 (午後6時)	3日目	5日目
地震等の 状況	自然現象		○震度5程度の余震発生、今後も続く ○日没			
ライフライン	水道	○給水活動開始	○県下の水道事業者からの応援部隊到着		○給水活動本格化	○復旧工事開始→西濃・岐阜・東濃は3週間、 中濃・飛騨は1ヶ月で復旧、下呂市、郡上市な どは1ヶ月以上
	下水道			○県下の応援部隊到着		○復旧工事開始→数日で復旧
	ガス	○プロパン販売業者の点検開始				○ガス管に被害があった場合、1ヶ月で復旧
	電気					○ほぼ復旧完了 ○建物倒壊地域で通電火災発生
	電話					○通話規制解除
交通	道路	○国道41・158号等の緊急輸送路の応急復旧工事開始 ○道路の点検開始→依然山間部の町村、集落は孤立	○余震により新たな箇所では被害発生			○落石除去、除雪等により軽微な被害箇所は通行可能 ○国道158号は復旧 ○物資輸送のトラック等で国道41・158号はのろのろ運転 ○大規模崩壊箇所は復旧長期化
	鉄道、バス				○路線バス運行開始 ○運休路線の代行バス運行開始	
建築物・火災					○応急危険度判定開始	○通電火災発生
県庁の動向		○被害情報収集、関係機関に通知 ○応援部隊投入検討(消防・警察・自衛隊) ○人員要請に対する調整(自衛隊への状況報告・県職員の派遣検討・医療救護班の編成) ○随時本部印会議で情報共有、指揮責任者による対応方針決定 ○マスコミへの被害状況公表準備	○食料物資供給事務 ○災害救助法関連事務 ○広域火葬計画に基づく火葬調整			
市役所、町村役場の動向		○被害情報収集・消火・救出・救護所設置・避難所支援(食料・生活支援物資)、死体搬送、安置活動 ○人員要請(県・警察・自衛隊・医療関係者等) ○情報の整理(被害状況・対応状況・情報空白地帯の確認・応援要請箇所報告)				
被災者、県民の動向		○避難所で避難が続く ○自主防災組織が救出活動 ○親戚・知人宅へ一部避難				○ライフライン復旧に伴い帰宅
救出・応急医療救護		○ヘリによる重症者の搬送開始			○下呂市等に自衛隊応援部隊到着 ○下呂市等に消防応援部隊到着→全国各地から到着 ○避難所に救護所設置、避難者への巡回医療活動開始	
避難所		○避難者は寒さの中で一夜を明かす ○仮設トイレ、暖房施設等設置 ○弁当が届けられる→以降定期的に供給 ○避難所に物資供給				○避難所の自主運営開始